

令和6年度 黒潮町通学路安全対策連絡協議会 道路管理者等改善計画確認表

要望学校名	ページ	危険内容	新規 継続	路線名	場所	要望の概要	道路管理者等	改善計画等の内容
拳ノ川小学校	1	交通	継続	町道 西の路線	拳ノ川	・町道西の路線については、住宅が町道のすぐそばまでせり出してきており、道路幅員もほとんどが4m幅員のない狭隘な道路で、児童の通学に危険である。 ・道幅が狭いうえに、雨が降ると土砂が崩れ落ちていることがあって危険である。	町建設課 町地域住民課	町道西の路線の道路改良工事については、令和10年代前半に完了予定で実施中。(補助の割当や予算、用地取得や地元協議により変更の可能性あり) (拡幅、グリーン帯の設置及び一部落石対策を順次実施します。) 令和5年度に交通安全啓発看板を設置済みです。
	2	交通	継続	町道 荷稻拳ノ川線	拳ノ川	・集落活動センター付近の大カーブにより前方の交差点が見えない。 ・拳ノ川1C及び医心橋から交差点(四差路)に流入する車が多く存在する。 ・付近には、民家や、拳ノ川住宅、支援センターこぶし、拳ノ川診療所、拳ノ川駐在所、集落活動センターなどの施設等が存在し、施設出入りする車の通行量がとても多く、児童の通学に非常に危険な場所である。	町建設課 町地域住民課	当該箇所は道路改良済みの区間であり、道路改良は困難です。 令和5年度に交通安全啓発看板を設置済みです。
	3	交通	継続	町道 荷稻拳ノ川線	拳ノ川	・町道荷稻拳ノ川線は、途中ゆるやかなカーブがあるもののほとんどが見晴らしの良い直線道路である。一部幅員が狭い箇所や、近年の改良工事により路面が整備されて走りやすくなったことにより、スピードを出して走行する車も多く、児童の通学に非常に危険な箇所である。	町建設課	町道荷稻拳ノ川線の道路改良工事については、令和6年度完了予定で実施中。(補助の割当や予算、用地取得や地元協議により変更の可能性あり) (拡幅、グリーン帯の設置を順次実施します。)
	4	交通	新規	町道 荷稻拳ノ川線	医心橋から荷稻	・20mあまりにわたって歩道に樹木が覆いかぶさるようになっており、見通しも大変悪く薄暮の時間帯はなおさらである。 ・交通安全上だけでなく防犯上も心配である。	町建設課	維持管理において対応します。
佐賀小学校	5	交通	継続	町道 馬地中角線	坂折から馬地の道	・山側にいくつか亀裂がある。 ・樹木が伸び道路まで生い茂っている。雨による落木もあり危険。	町建設課	令和6年度から事業計画協議を行い、令和7年度測量設計委託、令和8年度から工事の予定で計画しております。(補助の割当や予算、用地取得や地元協議により変更の可能性あり)
	6	交通	継続	県道 中土佐佐賀線	町道中道線との合流場所	・横断歩道の白線が薄くなっている箇所がある。	町地域住民課	幅多土木より公安委員会へ要請済みです。
			新規	町道 中道線	県道中土佐佐賀線との合流場所	・道路にひび割れができており、登下校中やマラソン練習中に踏く児童がいる。	町建設課	既存予算の中で順次対応予定。
	7	交通	継続	町道 佐賀中学校線		・歩道の白線とグリーンベルトが薄くなっている箇所がある。	町建設課	・自動車に対する注意喚起対策として、令和6年度カラー舗装とグリーンラインの引き直しを行います。
	8	交通	新規	町道 中道線	佐賀中学校グラウンド南側	歩道に花壇があったが花がなくなり雑草が生えて段差が分からなくなって危ない。登下校に利用する児童も多く、マラソンコースにもなっているためセメントで埋めるか定期的な草刈りをするか等対応してほしい。	町建設課	令和6年度に花壇を埋める対策済みです。
	9	交通	継続	国道 56号	白石団地から国道56号線に入る歩道～ローソンがある辺りまでの歩道	・団地側(田畑側)にはガードレールがあるが、車道側にはガードレールがない。本校児童はこの道を歩いて通学しているが、交通量も多く登下校の安全に不安がある。	国土交通省	現地調査等を実施し、歩車道境界に車両用防護柵が設置可能か検討します。
10	交通	新規	国道 56号	白石団地入口国道からなぶら土佐佐賀国道を挟んだ向かい側までの歩道	・冬になると夕方児童が下校する時間に周辺が見えなくなるため、街灯の設置をしてほしい。	国土交通省	令和6年度、減速表示と通学路標識の移設を検討します。	
	防犯				・安全見守りの防犯カメラの設置を要望したい。	町教育委員会	関係者と協議、検討します。	

令和6年度 黒潮町通学路安全対策連絡協議会 道路管理者等改善計画確認表

要望学校名	ページ	危険内容	新規 継続	路線名	場所	要望の概要	道路管理者等	改善計画等の内容
佐賀小学校	11	交通	新規	町道 ホソ田中角	水神坂の信号から佐賀駅の町道の舗装のやり替えと定期的な草刈り	・舗装の段差により転んだ児童が複数名おり（自転車のタイヤがはまって転倒・段差に躓き転倒）、フラットになるような舗装に希望する。合わせて定期的な草刈りを希望する。	町建設課	現地を確認しましたが、段差はあるがタイヤがはまるような溝は確認できませんでした。
	12	交通	新規	国道 56号	ローソン黒潮町佐賀店前	・横断歩道前で児童が待機しているのが両サイドの柱によって見えにくい。歩行者優先の意識を車側に伝えられるよう工夫をしてもらいたい。（押ボタン信号機の設置が一番望ましい）	国土交通省 中村警察署	歩行者の停止線をつくるなど工夫もできるのではないか（停止線での待機などルールを守ってもらうことで歩行者が確認しやすくなるのではないか） 信号機設置は困難です。
	13	交通	新規	国道 56号	不破原地区の直線道路（上り約300m・下り約200m）	・この区間は見通しの良い直線区間ではあるが、追い越しをかけようとスピードを上げて走行する車両が多く、以前から交通事故が多発しています。小中学生はスクールバスで登下校しており、追い抜き車線間にあるバス停を利用しているため、交通事故に巻き込まれる危険性がある。そのため何らかの交通安全対策を講じてほしい。	国土交通省	現地調査等を行い、減速を促す標示などの検討を行います。
上川口小学校	14	交通	新規	町道 エビス線	王無団地内 国道56号線交差部分周辺及び町道浮津線交差部分周辺	・町道エビス線交差点部が開水路となっており、幅員に余裕がなく車両及び歩行者との離合が困難な状況です。 当該路線は、通勤、通学の時間帯において児童含む歩行者との接触の危険性があるため蓋のある側溝を設置する拡幅を要望する。	町まちづくり課	R7年度より道路改良事業として蓋のある側溝の設置を進める予定です。
	15	交通	継続	町道 有井川線	有井川 藤の花から北方向の路線	・全体的に幅員が狭く車の交通量も多い。	町まちづくり課	黒潮町が用地買収を行い、拡幅工事は高規格道路建設における工事用道路として国土交通省が道路改良工事中です。
南郷小学校	16	交通	継続	国道 56号	弘野前横断歩道	・押しボタン式信号が登下校時に定周期信号になり信号機も大きくなったが、依然青信号になっても注意は必要。スピードを出している車が急ブレーキを踏んでいることが度々ある。予告の信号はあるものの、それでも減速には至っていない。 ・児童横断の注意を喚起するため、横断歩道の塗り替えを要望する。	中村警察署	県警本部交通規制課に上申しています。
	17	交通	継続	町道 湊川線	奥湊川 ふれあいセンターから北方向の路線	・全体的に幅員が狭く車の交通量も多い。また、一部落石箇所がある。	町まちづくり課	引き続き道路改良事業を進めております。（拡幅、グリーン帯の設置及び一部落石対策を順次実施します。）
	26	防犯	継続	町道 小川田村線	国道から150m付近	・土砂災害の危険及び河川氾濫地域により、道路の冠水が心配される。 ・堤もないため、歩道との区別を明確にするポール等の設置を要望する。 ・人通りが少なく暗いため、防犯灯の設置を要望する。	町情報防災課	防犯灯の設置は地区（設置費用の2/3補助【上限3万円】、管理は地区）
入野小学校	18	交通	継続	町道 藩下線	大方中学校から入野小学校までの区間	・大方中央保育所から入野小学校の道路区間は道幅が狭い。 ・児童の登下校時には保育所・中学校・高校への保護者の送迎の車と出勤する車等が重なるため交通量が非常に多くなっている。最も危険な場所としては、入野小学校校門前のカーブと大方高校から大方中学校に向かうT字路である。 特に、本校校門前から南方向へのフェンス沿いはスクールバスの発着場所であり、同時に児童の送迎の車、学童保育の迎えの車も相当数あるため児童の登下校にはとても危険であり事故が起こってからは取り返しがつかないものと考える。	町まちづくり課	道路改良の予定はありません。歩道の段差解消は引き続き行います。 現地の状況については確認のうえ改善点について関係機関と協議します。
	19	交通	継続	町道 田端支1号線	大方郵便局から大方バイパスに抜ける路線	・全体的に幅員が狭く車の交通量も多い。	町まちづくり課	R6年度に工事実施、完成予定です。（拡幅、歩道の設置を実施）
	27	防犯	継続	町道 松原公園内線	大方あかつき館周辺の松原に通っている道路	・人通りが少ない。 ・松林の通りは日中でも薄暗く危険性がある。 ・車が通れる道が続いており通りがかりの犯罪に巻き込まれる可能性もある。	町教育委員会	こどもサポートセンター及びスクールガードリーダーによる登下校時の巡回を強化し、安全確保につとめます。
田ノ口小学校	20	交通	継続	町道 馬荷線	旧馬荷小学校から北方向の路線	・全体的に幅員が狭く車の交通量も多い。	町まちづくり課	引き続き道路改良事業を進めております。（拡幅、グリーン帯の設置を順次実施します。）

令和6年度 黒潮町通学路安全対策連絡協議会 道路管理者等改善計画確認表

要望学校名	ページ	危険内容	新規 継続	路線名	場所	要望の概要	道路管理者等	改善計画等の内容	
三浦小学校	21	交通	新規	県道 町道	中村下田ノ口線 土橋線	三浦小方面上り口と双海サーフ ビーチ方面の三叉路	・両方向からの交通があり、特に双海側からは減速せずに通る車が多い。県外車は学校があることを認識しておらず、危険な速度で通行するので、横断歩道が必要。	中村警察署	歩行者の待機場所を確保することができない場所であるため、横断歩道は設置できません。
	22	交通	継続	県道	中村下田ノ口線	田野浦マルア海産近くの四叉路	・朝夕は交通量が多くなる。四叉路でありながら、県道を車が高速で通行するため危険である。	幡多土木事務所	減速マーク等、減速を促す路面標示を実施済みです。
	23	交通	継続	県道	中村下田ノ口線	旧南部農協前の三叉路から潮入橋 までの路側帯	・路側帯はあるが、カーブを曲がり切れない自動車ははみ出して来る。また、橋が狭いため歩道の確保が難しく、通学する児童が危険な状態にある。そのため歩道の設置と歩行者専用の橋が必要と考える。	幡多土木事務所	歩道の新設に向けて測量・設計を実施しており、国土調査完了後、事業に着手します。
	24	交通	継続	町道	土橋線	三浦小学校入り口付近および南側 道路	・見通しが悪い上に、交通量が多い。(車の速度が速く、危険を感じる) 草が道路に向けて倒れており、歩道が歩きにくい。 1学期末、雨続きの際に道路脇の崖より落石があり、通報を受けた。範囲が広く限定しにくい ため、雨天時は崖側にも注意するよう指導した。 ※危険回避のため、体育館北側避難路も利用する予定。9月6日に区長と点検し、避難路の照明の設 置を進めることとなった。	町まちづくり課	維持管理において対応します。
	25	交通	継続	町道	打越線	南部農協東側道路	・狭い道なので車が通るときに子どもが避けにくい。 ・急な坂だが、子どもたちは走って下りたりするので転倒や車との接触が危惧される。 (頭上を気が覆っており、常に湿っていて苔が生えている)	町まちづくり課	草木が伸びることによる視界不良については維持管理により対応します。
	28	防犯	新規		避難道	三浦小学校体育館北側避難道	・草や木が茂っており、全体的に暗く、人通りが少ない。 避難路ではあるが照明がほとんどない。	町情報防災課	令和6年度中に設置予定です。
	29	防犯	継続	町道	大向浜畑線	出口 海岸近くの集会所周辺	・県外客が多い。宿泊の車も季節によっては多い。車の出入りも多い。 防犯カメラがあるといい。	町教育委員会	令和6年度に設置済みです。
大方中学校	30	防犯	新規	県道	大方大正線	主要地方道大方大正線(上川口～ 姥川)	・道路上に設置されている街灯が少ないため、日没で暗くなると周囲を視認することが難しくな り、不審者出現等の心配がある。特に、冬場は、周囲が暗くなる時間帯と本校生徒が下校する時間 帯が重なり、その危険性が增大する。	町情報防災課	防犯灯の設置は地区 (設置費用の2/3補助【上限3万円】、管理は地区)
	31	防犯	新規	県道	大用大方線	県道大用大方線(早咲～加持)	・道路上に設置されている街灯が少ないため、日没で暗くなると周囲を視認することが難しくな り、不審者出現等の心配がある。特に、冬場は、周囲が暗くなる時間帯と本校生徒が下校する時間 帯が重なり、その危険性が增大する。	町情報防災課	防犯灯の設置は地区 (設置費用の2/3補助【上限3万円】、管理は地区)
	32	防犯	新規	県道	岡本大方線	県道岡本大方線(上田の口～馬 荷)	・道路上に設置されている街灯が少ないため、日没で暗くなると周囲を視認することが難しくな り、不審者出現等の心配がある。特に、冬場は、周囲が暗くなる時間帯と本校生徒が下校する時間 帯が重なり、その危険性が增大する。	町情報防災課	防犯灯の設置は地区 (設置費用の2/3補助【上限3万円】、管理は地区)